

平成22年度

事業概要

国土交通省

鳥取河川国道事務所

目 次

1. 平成22年度鳥取河川国道事務所事業費	3
2. 河川事業	
・千代川改修事業(稲常箇所)	4
・千代川維持修繕事業(湯所川排水機場)	5
3. 道路事業	
(1)山陰道	
・一般国道9号 鳥取西道路	6
・一般国道9号 鳥取西道路(Ⅱ期)	7
・一般国道9号 鳥取西道路(Ⅲ期)	8
(2)鳥取豊岡宮津自動車道	
・一般国道9号 駟馳山バイパス	9
(3)その他	
・一般国道29号 津ノ井バイパス	10
・一般国道9号 耐震補強(鳥取大橋・覚寺高架橋・秋里橋)	11
・一般国道53号 栃本大橋橋梁補修	12
・一般国道9号 溝川交差点改良	13
・一般国道29号 落折視距改良	14
・一般国道9号 馬場地区歩道整備	15
・一般国道29号 徳丸地区歩道整備	16
・一般国道53号 高福地区歩道整備	17
・一般国道53号 電線共同溝	18

1. 平成22年度鳥取河川国道事務所事業費

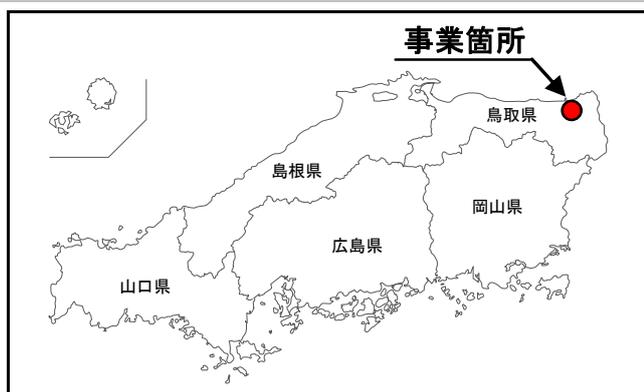
平成22年度事業費		単位:百万円
事業部門	費目	事業費(当初)
河川事業	改修	318
	維持修繕	453
	応急対策	8
	小計	779
道路事業	地域連携	4,980
	交通円滑化	1,384
	更新防災(耐震補強)	240
	更新防災(修繕)	958
	維持	773
	交通安全	616
	雪寒	78
	電線共同溝	771
	小計	9,800
合計		10,579

- (注) 1. 事業費には業務取扱費、災害復旧費を含まない。
 2. 上記の他に、付帯・受託工事を施行する。

事業推進

千代川右岸稲常地区の堤防は堤防断面不足(カミソリ堤)となっており、流下能力が著しく低くなっています。また、過去には堤防裏法面からの漏水報告や対策してほしいとの地元要望もあり、早急に対策を行う必要があることから、堤体の安定化と定規断面の確保を行うため、築堤護岸、断面拡大及び合流点処理を実施します。

平成22年度は用地買収及び千代川本川の堤防工事に着手し、事業の推進を図ります。



期待される整備効果

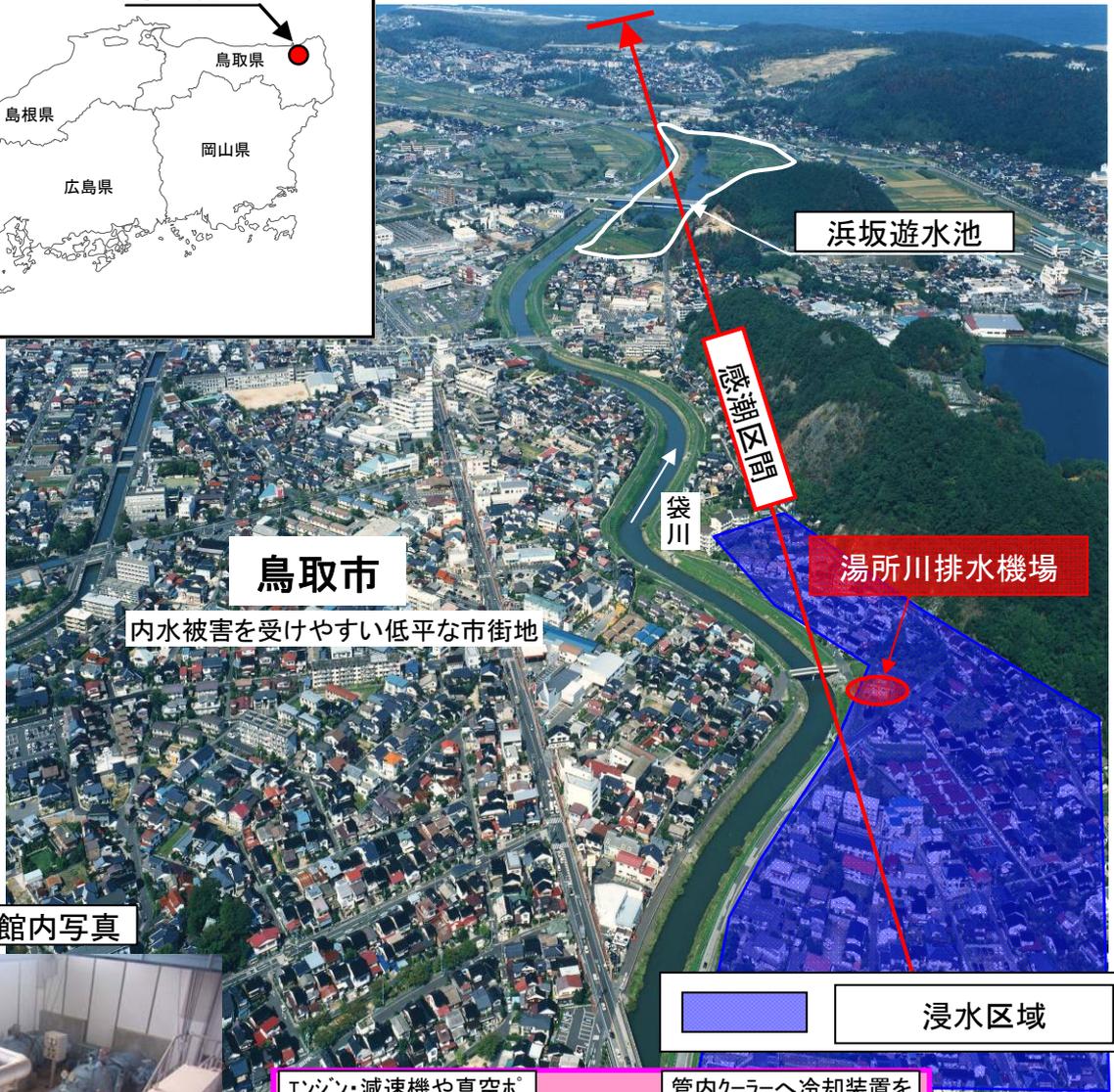
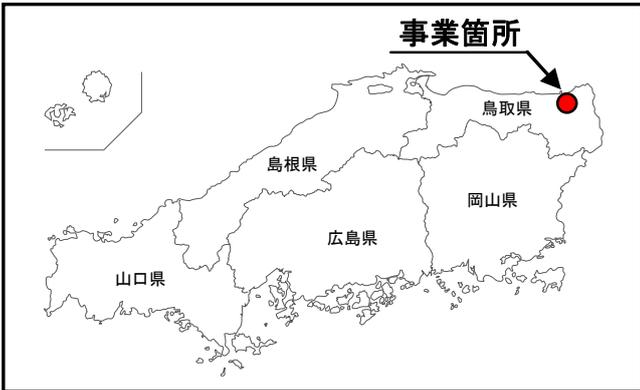
築堤工事により、堤体の安定化と定規断面の確保を行うことにより、戦後最大相当の出水による浸水被害を解消します。

千代川維持修繕事業（湯所川排水機場）

H22:96百万円

湯所川流域は、昭和51年、昭和54年、昭和56年と連続して内水被害を受けています。湯所川排水機場は、こういった浸水被害を防止するための施設です。湯所川排水機場は昭和57年に完成してから28年が経過しており、各部の老朽化が著しく、機器の更新が必要になってきています。

また、冷却水システムが複雑なため、施設の信頼性の面で問題を生じる恐れがあるため、早急に機器の更新（設備の無水化改造）とそれに伴う制御設備の更新を行います。（実施年度 平成21～25年）



湯所川排水機場館内写真



エンジン・減速機や真空ポンプ等の冷却をポンプで行っており機器が複雑。

管内クーラーへ冷却装置を更新することで冷却水システムの信頼性強化を図る。



期待される整備効果

湯所川流域の内水被害を軽減させます。また、湯所川排水機場の機器に対する信頼性が向上します。

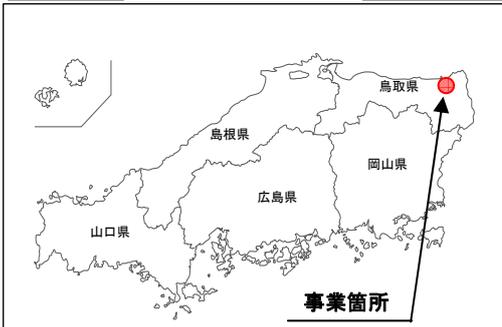
とっとりにし 一般国道9号 鳥取西道路

H22:2, 314百万円

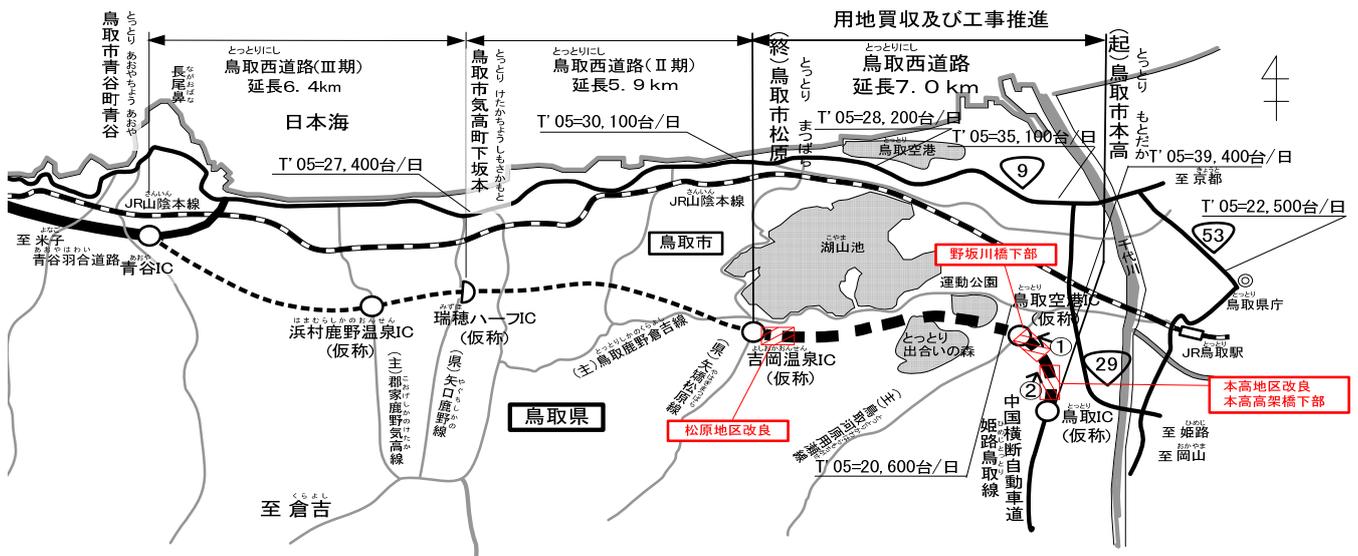
事業推進

一般国道9号鳥取西道路は、鳥取市内の交通混雑緩和、交通安全の確保を目的とした、鳥取市本高から同市松原に至る延長7.0kmの道路です。
平成22年度は、用地買収、道路改良(本高地区・松原地区)、橋梁(本高高架橋・野坂川橋)等を推進します。

位置図



進捗状況写真



期待される整備効果

移動時間の短縮

鳥取西道路の整備により、移動時間の短縮が図られます。そして、青谷羽合道路と連結することで、鳥取県東部地域と中部地域の交流が盛んになり、地域経済の活性化が期待されます。



幹線道路ネットワークの形成

鳥取西道路が、姫路鳥取線や青谷羽合道路と連携することにより、県内の幹線道路ネットワークが形成されます。これにより、中四国地方や京阪神地方との広域的な交流・連携が強化され鳥取県東部地域の産業を活性化するとともに生活圏域の拡大を促し、鳥取県の経済や文化の発展に役立つことが期待されます。



とっとりにし 一般国道9号 鳥取西道路Ⅱ期

H22:700百万円

事業推進

とっとり とっとり
一般国道9号鳥取西道路Ⅱ期は、鳥取市内の交通混雑緩和、交通安全の確保を目的とした、
とっとり まつばら けたか しもさかもと
鳥取市松原から同市気高町下坂本に至るL=5.9kmの道路です。

平成22年度は、用地買収を推進します。

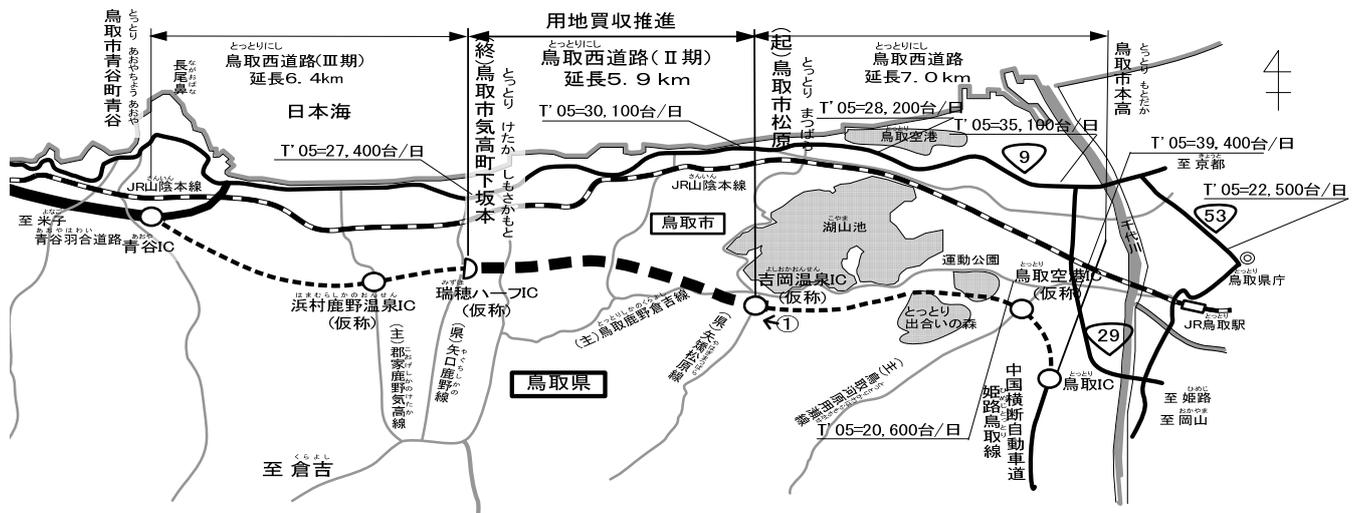
位置図



進捗状況写真



吉岡温泉IC(仮称)付近



期待される整備効果

移動時間の短縮

鳥取西道路の整備により、移動時間の短縮が図れます。そして、青谷羽合道路と連結することで、鳥取県東部地域と中部地域の交流が盛んになり、地域経済の活性化を促します。

さらに、山陰道が全線整備されますと、より広域的な産業振興や生活圏の拡大が期待されます。



幹線道路ネットワークの形成

鳥取西道路は、姫路鳥取線や青谷羽合道路と連携することにより、県内の幹線道路ネットワークが形成されます。これにより、中四国地方や京阪神地方との広域的な交流・連携が強化され鳥取県東部地域の産業を活性化するとともに生活圏の拡大を促し、鳥取県の経済や文化の発展に役立つことが期待されます。



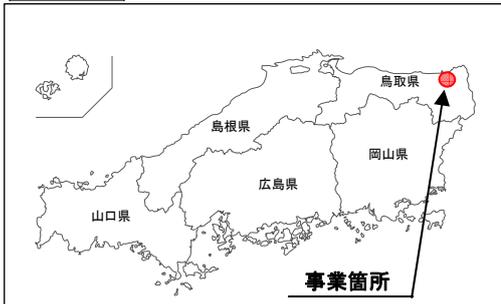
一般国道9号 鳥取西道路Ⅲ期

H22:100百万円

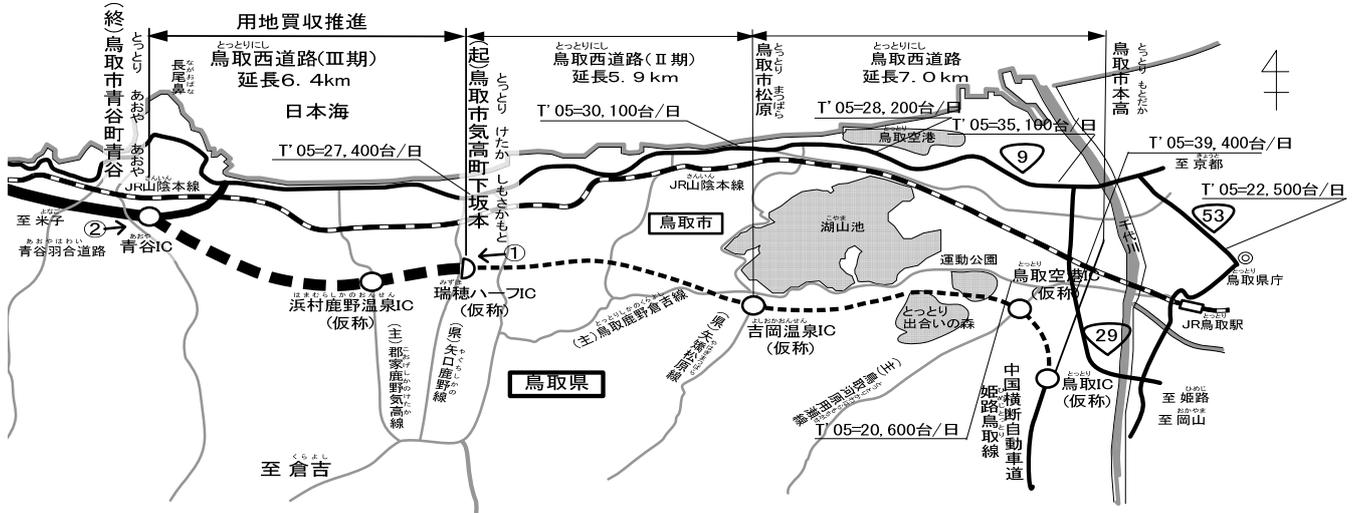
事業推進

一般国道9号鳥取西道路Ⅲ期は、鳥取市内の交通混雑緩和、交通安全の確保を目的とした、鳥取市気高町下坂本から同市青谷町青谷に至るL=6.4kmの道路です。
平成22年度は、用地買収を推進します。

位置図



進捗状況写真



期待される整備効果

移動時間の短縮

鳥取西道路の整備により、移動時間の短縮が図れます。そして、青谷羽合道路と連結することで、鳥取県東部地域と中部地域の交流が盛んになり、地域経済の活性化を促します。

さらに、山陰道が全線整備されますと、より広域的な産業振興や生活圏の拡大が期待されます。



幹線道路ネットワークの形成

鳥取西道路は、姫路鳥取線や青谷羽合道路と連携することにより、県内の幹線道路ネットワークが形成されます。これにより、中四国地方や京阪神地方との広域的な交流・連携が強化され鳥取県東部地域の産業を活性化するとともに生活圏の拡大を促し、鳥取県の経済や文化の発展に役立つことが期待されます。



一般国道9号 駒馳山バイパス

H22:2, 516百万円

事業推進

一般国道9号の岩美郡岩美町から鳥取市福部町間の交通安全の確保及び峠部の線形不良箇所の解消を目的とする道路です。

平成22年度は、道路改良(細川地区・海士地区、駒馳山トンネル入口)、橋梁(本庄跨線橋、蒲生川橋)及び、細川トンネル等の工事を推進します。

位置図

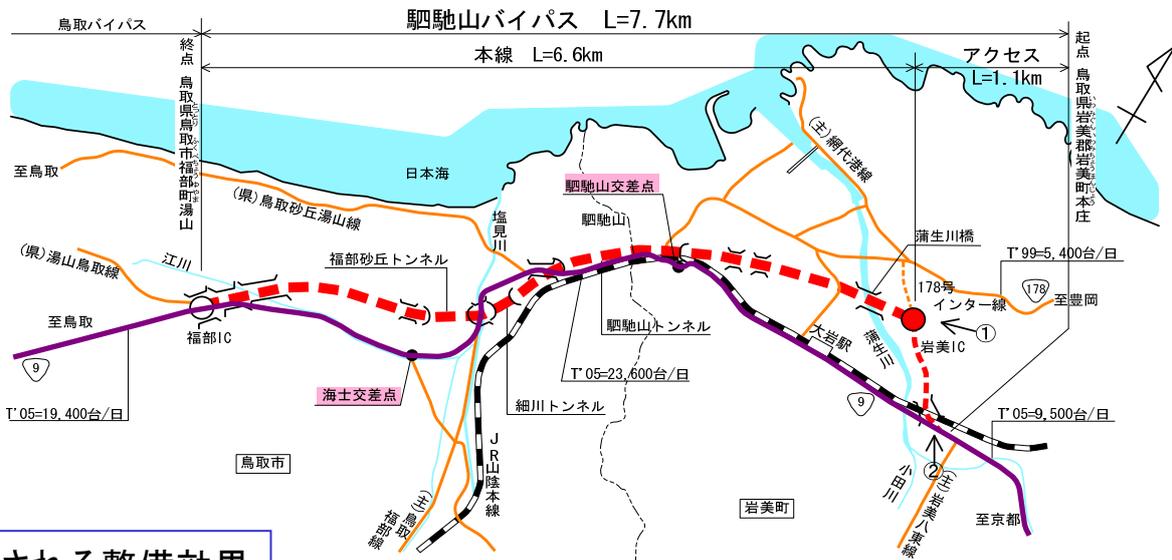


進捗状況写真



岩美IC付近から西方面を望む

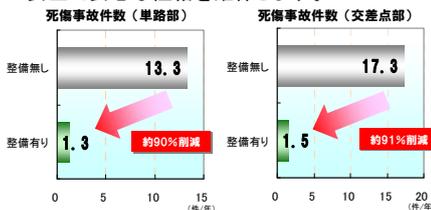
本庄地区から岩美IC方面を望む H21.12撮影



期待される整備効果

安全で信頼性の高い道路ネットワークの確保

災害や緊急時における代替路を整備し、安全で安心な性格を確保します。



※整備なし、整備あり時の交通量はH42交通量推計結果による
 ※算出方法は『交通事故減少便益原単位の改定案について』;H15.3国土交通省]による



移動時間の短縮

駒馳山バイパスの整備により、所要時間が5分短縮されます。



※現況: H17年度道路交通センサ混雑時旅行速度より算出
 将来: 駒馳山バイパス本線の旅行速度80km/h、アクセス部の旅行速度60km/hとして算定

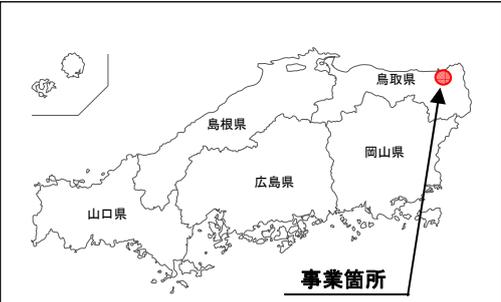
一般国道29号 津ノ井バイパス

H22:75百万円

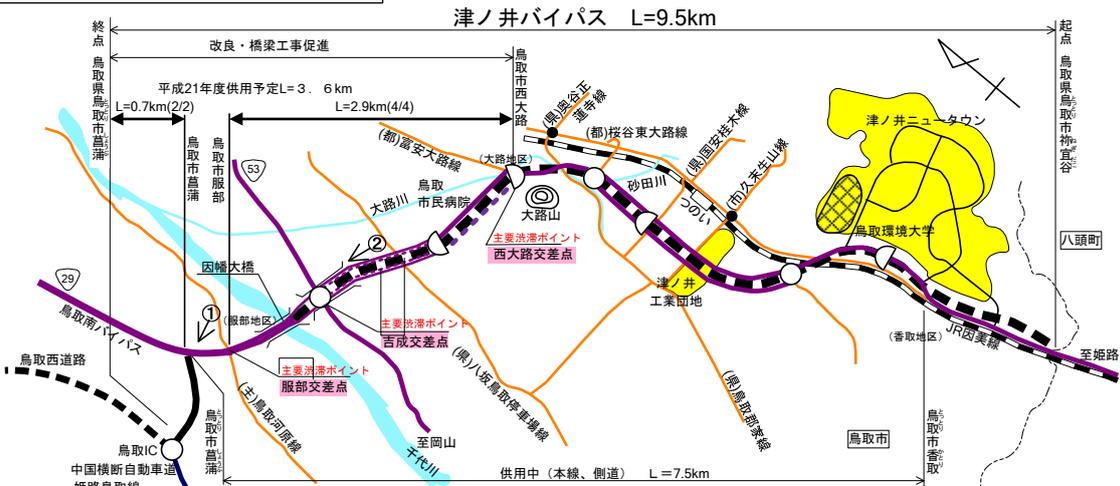
事業推進

津ノ井バイパスは、一般国道29号の鳥取周辺の交通混雑の緩和及び交通安全の確保を目的とした、鳥取市柘宜谷から鳥取市菖蒲に至る延長約9.5kmの道路です。
平成22年度は調査設計を推進します。

位置図



進捗状況写真



期待される整備効果

効果1) 『交通渋滞の緩和』

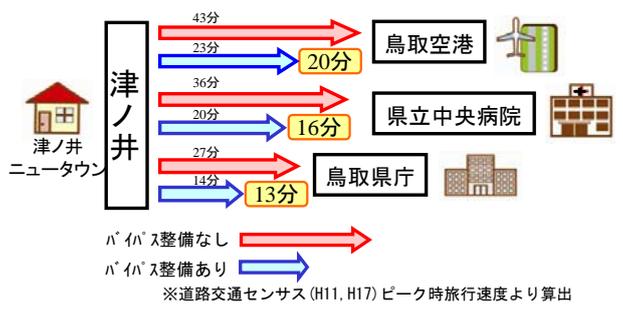
国道29号の鳥取市周辺では、著しい交通渋滞が発生しています。本線の高架化、交差点の立体化、現道拡幅により、交通渋滞の緩和が期待されます。

国道29号 鳥取市周辺の渋滞状況



効果2) 『所要時間の短縮』

津ノ井バイパスの整備による交通渋滞の緩和により、津ノ井ニュータウンから第三次医療施設である県立中央病院及び鳥取空港への所要時間が約10分短縮されます。



一般国道9号 ^{とっとり}鳥取大橋・^{かくじ}覚寺高架橋・^{あきさと}秋里橋耐震補強

H22:700百万円

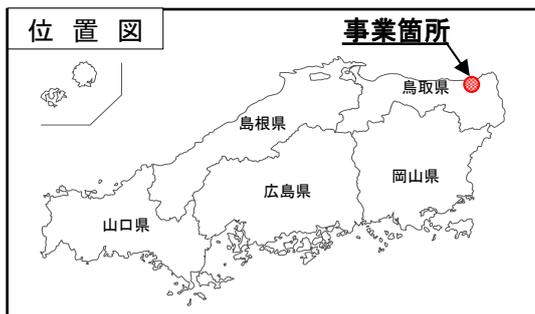
完成予定

一般国道9号は、京都市と下関市を結ぶ主要幹線道路であり、地震災害時における緊急輸送を確保するための第1次緊急輸送道路※に指定されています。

鳥取大橋は、昭和48年に架設された橋梁で、建設後37年が経過しており、橋梁の拡幅に合わせて耐震補強工事を行います。

平成22年度は、橋脚補強等を実施し、完成を目指します。

※第1次緊急輸送：県庁所在地、地方中心都市、重要港湾、空港、総合病院、自衛隊、警察、消防等を連絡する重要な道路



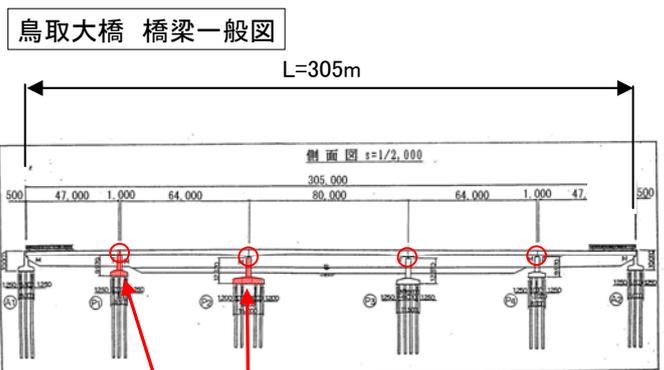
国道9号 鳥取大橋(鳥取県鳥取市秋里)



国道9号 秋里橋(鳥取県鳥取市秋里)



国道9号 覚寺高架橋(鳥取県鳥取市覚寺)



補強内容: 橋脚補強工
落橋防止装置工

期待される整備効果

橋梁の機能が保たれ、安全で円滑な交通確保や災害発生時等の支援物資の輸送、救急活動等に活用され、安全・安心な生活が確保されます。

一般国道53号 栃本大橋橋梁補修

とち もと おお はし

H22:120百万円

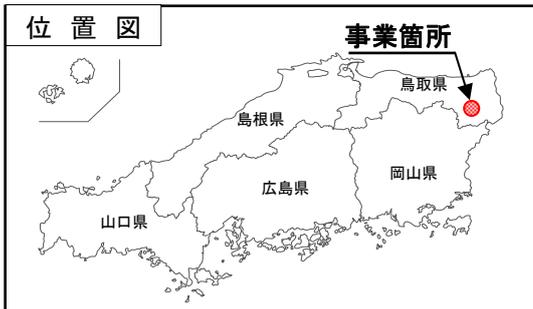
完成予定

一般国道53号は、岡山市と鳥取市を結ぶ主要幹線道路であり、地震災害時における緊急輸送を確保するための第1次緊急輸送道路※に指定されています。

栃本大橋は、昭和45年に架設された橋梁で、建設後40年が経過しており、床版部のコンクリートにひび割れや剥離等の損傷が発生しています。

平成22年度は、コンクリート断面修復等を実施し、完成を目指します。

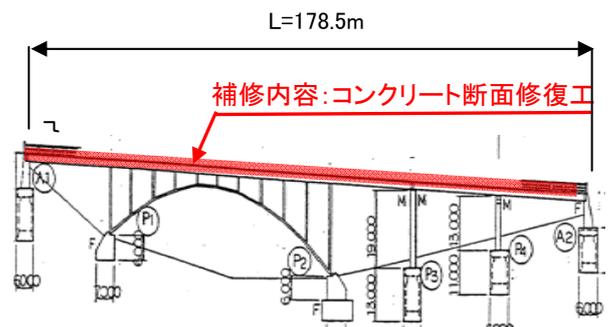
※第1次緊急輸送：県庁所在地、地方中心都市、重要港湾、空港、総合病院、自衛隊、警察、消防等を連絡する重要な道路



国道53号 栃本大橋(鳥取県八頭郡智頭町奥本)



橋梁一般図



期待される整備効果

橋梁の機能が保たれ、安全で円滑な交通確保や災害発生時等の支援物資の輸送、救急活動等に活用され、安全・安心な生活が確保されます。

一般国道9号 溝川交差点改良

みぞかわ

H22:30百万円

継続箇所

鳥取市伏野に位置する当該区間は、国道9号と県道伏野覚寺線が合流する交差点です。交差点付近の道路線形が悪く、その影響で続きの単路区間において交通事故が多発しており、事故危険箇所に指定されています。また、末恒小学校の通学路に指定され、206人が通学していますが、一部区間において歩道幅員が0.8m程度と狭いため、大変危険な状況です。このため、交差点内の道路線形の改良及び歩道の一部拡幅を行い、交通事故の低減と歩行者の安全を確保します。

平成22年度は、用地買収及び工事を促進します。



位置図



交差点改良及び歩道拡幅

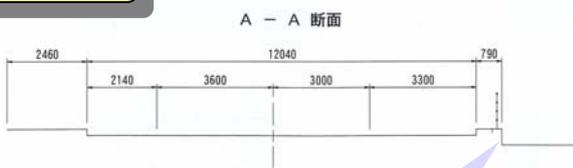
現況写真

国道9号鳥取県鳥取市伏野地内



見通しの悪い交差点

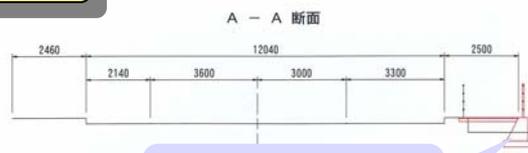
現況



片側の歩道が狭いため、通学児童が道路横断するまでに危険が伴う。

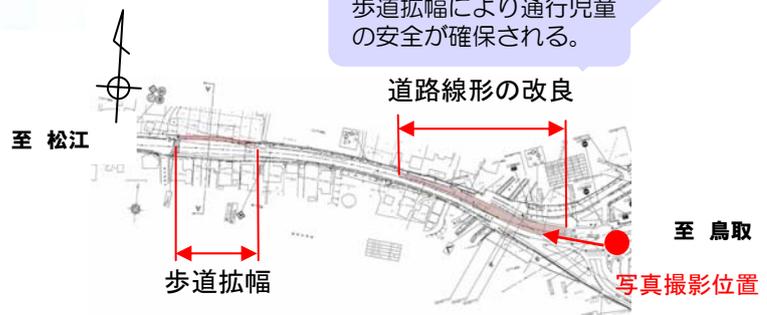
計画

鳥取方面から松江方面を望む



歩道拡幅により通行児童の安全が確保される。

道路線形の改良



期待される整備効果

- 道路線形の改良により交通事故の減少が見込まれます。
- 歩道が広幅員となり、通学児童の安全が確保されます。

一般国道29号 おちおり 落折視距改良事業

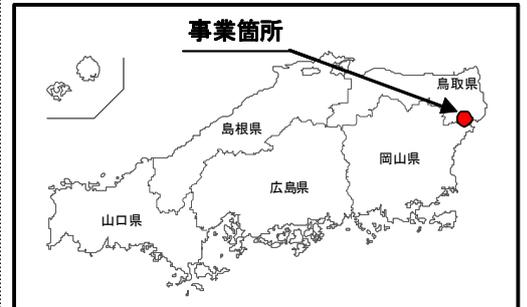
H22:81百万円

継続箇所

当該箇所は、一般国道29号八頭郡若桜町落折に位置しており、国道29号の線形が悪く、交通の難所となっている箇所です。当該箇所は道路線形がR=25mと非常に悪く、事故の多い箇所です。

本事業は、既設橋梁の拡幅を行い、国道29号の視距を改良し、交通事故の削減を図るものです。

今年度は、用地買収を進め、工事を実施する予定です。



位置図



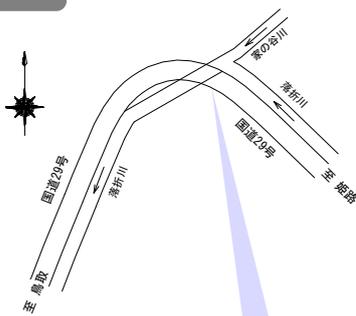
現況写真

国道29号八頭郡若桜町落折地内



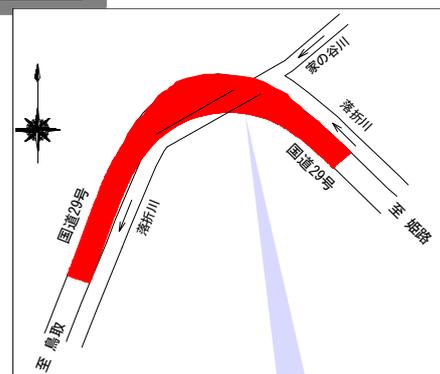
道路線形が悪い現況

現況



道路線形が非常に悪く、見通しが悪いカーブである。

計画



既設橋梁の拡幅を行い、線形を改良する。

期待される整備効果

- 道路線形が改良され、事故が減ります。

一般国道9号 馬場地区歩道整備

H22:114百万円

継続箇所

岩美町馬場に位置する当該区間は、国道9号の県境付近に位置する区間で、現在両側に歩道がなく、歩行者の通行に支障が出ています。また、周辺部落との連絡の支障になっているため、地元より強い歩道整備要望が出ている区間です。

そのため、国道に歩道を整備し、歩行者の安全を確保します。平成22年度は用地買収及び工事に着手し、歩行者交通の安全確保を図ります。



位置図



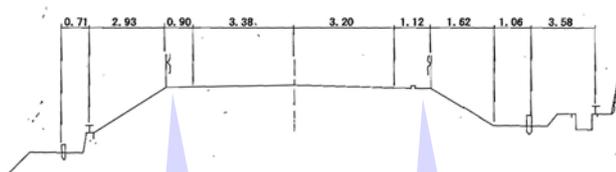
現況写真

国道9号岩美郡岩美町馬場地内



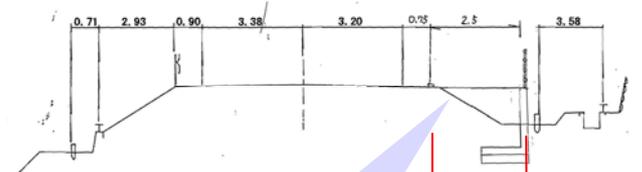
両側に歩道がない現況

現況



両側に歩道がない。歩行者は路肩を歩くため危険が生じている。

計画



のり面に構造物を用いて歩道幅員を確保。

歩道新設

期待される整備効果

- 歩行者の安全が確保されます。

一般国道29号 とくまる 徳丸地区歩道整備

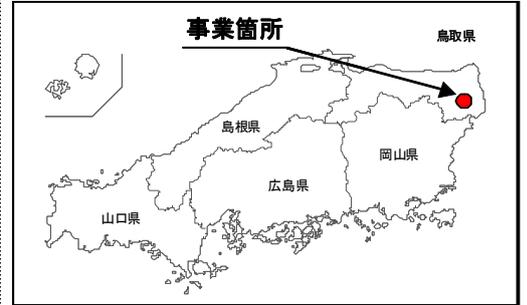
H22:93百万円

継続箇所

当該箇所は、一般国道29号八頭郡八頭町徳丸に位置しており、山地と川に挟まれた区間です。交安法第3条に基づく通学路として指定されていますが、現況の歩道が幅約1mと狭く、歩行者の通行が危険な区間です。

本事業は、上り車線側に歩道の拡幅を行い、安全・安心な歩行区間の確保を図るものです。

今年度は、用地買収を進め、工事に着手する予定です。



位置図



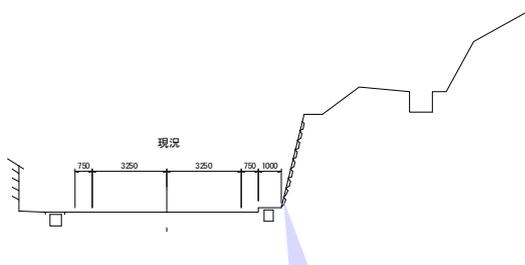
現況写真

国道29号八頭郡八頭町徳丸地内



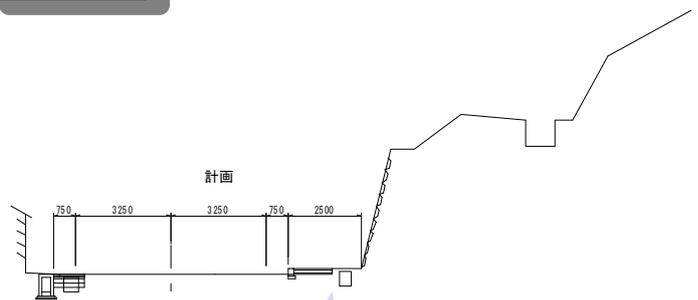
狭い歩道の現況

現況



現況の歩道が1mと狭く、歩行者や自転車の通行に危険が生じている。

計画



道路を民地側にシフトして、歩道幅員を確保する。

期待される整備効果

- 歩行者の安全が確保されます。

一般国道53号 たかふく 高福地区歩道整備

H22:114百万円

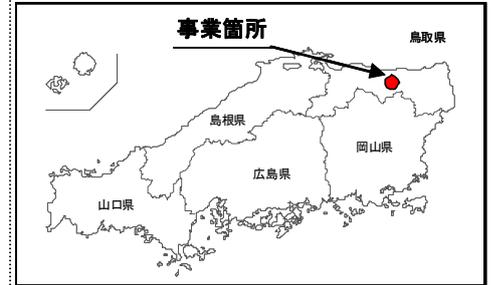
継続箇所

当該箇所は、一般国道53号鳥取市河原町高福に位置しており、千代川と山地に53号が挟まれており歩道のない区間です。

道路幅員も狭く、通行が危険な箇所でもあるため、歩行者・自転車は遠回りとなる対岸の町道を利用しています。

本事業は、下り車線側に歩道の新設を行い、安全・安心な歩行空間の確保を図るものです。

平成22年度は、工事を推進します。



位置図



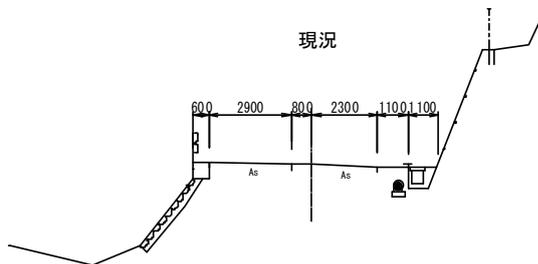
現況写真

国道53号鳥取市河原町高福地内



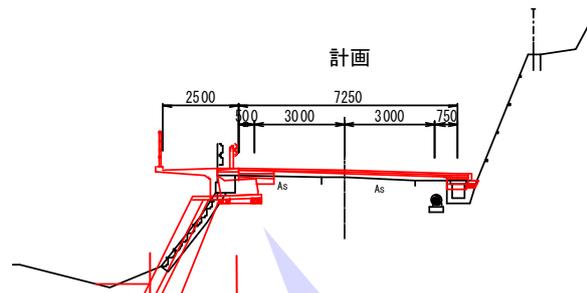
両側に歩道がない現況

現況



両側に歩道がない。
歩行者は路肩を歩くため
危険が生じている。

計画



歩道新設

のり面に構造物を用いて
歩道幅員を確保。

期待される整備効果

- 歩行者の安全が確保されます。

でんせんきょうどうこう
電線共同溝事業

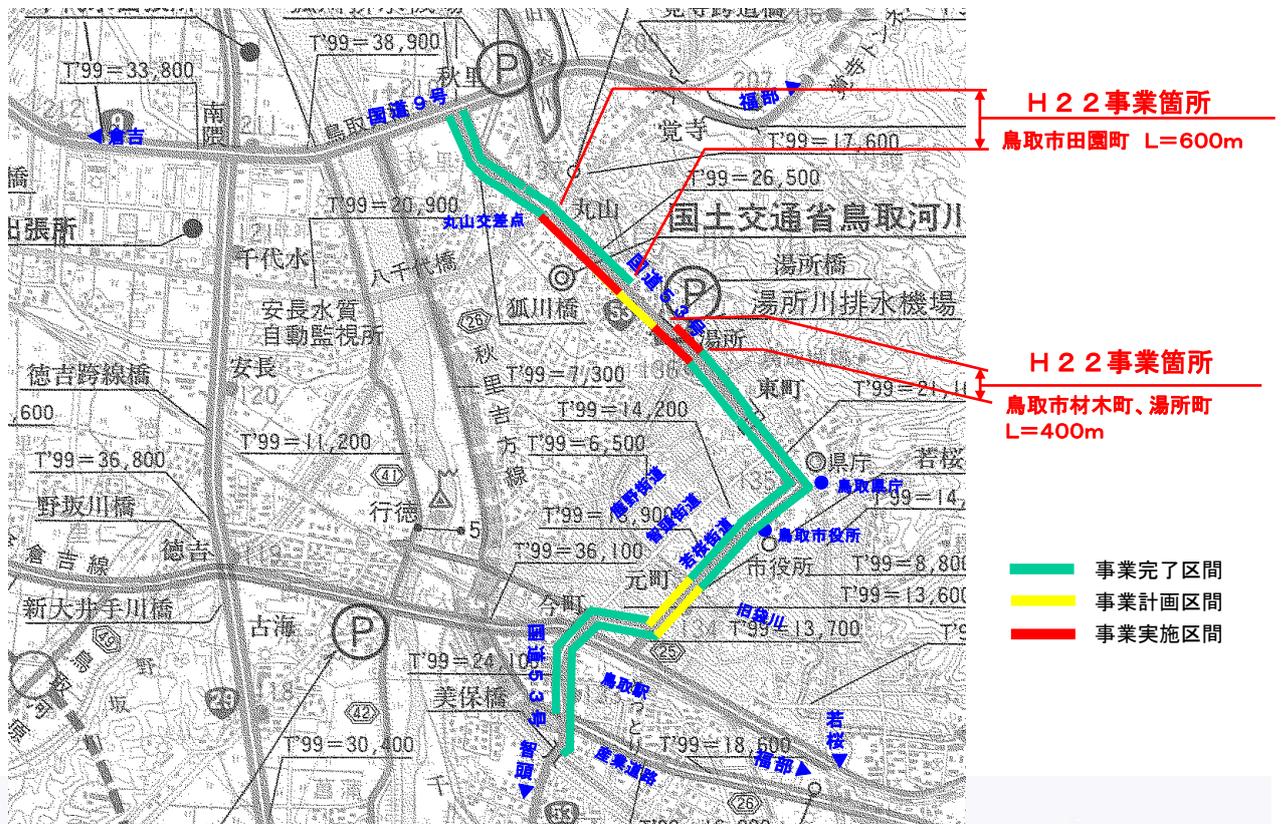
H22:771百万円

事業推進

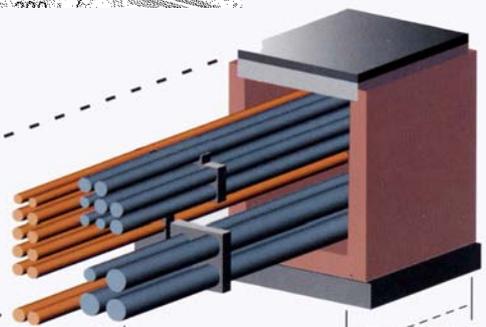
でんせんきょうどうこう
電線共同溝は、道路地下に光ファイバー、電力ケーブル等をまとめて収容するもので、地中化により、災害時の避難路・輸送経路の確保、歩行者空間及び交通安全の確保、路上工事の削減による渋滞の減少、良好な都市景観の形成、電力・通信の安全性・信頼性の向上等が図られます。

鳥取市内の一般国道53号で整備を進めており、これまでに鳥取市天神町から今町、新町から本町及び西町で整備を完了しています。

平成22年度は一般国道53号の鳥取市材木町、湯所町、および田園町の事業を進めていきます。



電線共同溝 (C・C・BOX) のイメージ図



管路部
特殊部